

第60回“社会を明るくする運動”



▲ 夏野推進委員長・射水市長より表彰状が手渡された。

射水 更生 保護

発行・編集

射水保護司会
 会長 米澤 治夫
 TEL 0766-52-4321
 〒934-8555
 射水市本町2丁目10番30号
 射水市福祉保健部 社会福祉課内

作品コンテスト 三部門 優秀賞二十四名表彰

第六十回 “社会を明るくする運動” の作品コンテスト表彰式は、二十二年十月十六日(土)・一四時より、アイザック小杉文化ホール(まどかホール)で開催されました。

この作品コンテストは、射水市推進委員会・射水保護司会の学校部会が中心になり、コンテストを通して、「非行や犯罪の無い明るい社会の実現」を目指したもので、市内の小、中、から四、〇〇〇余点の作品応募があり、その関心の高さに、心強く、この運動が着実に根付いている事を実感しました。

作品コンテストは、“社会を明るくする運動” 推進事業の一つとして射水市推進委員会・射水保護司会が主催し、

市内小学校十五校、中学校七校から四千十八点の応募があり、八月四日及び六日の二日に巨り厳正な審査(保護司)が行われた結果、優秀賞として左記のとおり入賞を決定しました。

- 作 文の部…………… 十名
- ポスターの部…………… 七名
- 標 語の部…………… 七名
- (名簿は、次ページに掲載)

表彰式は夏野元志、推進委員長・射水市長の開会のあいさつに続き表彰状授与があり、受賞者一人一人に賞状が手渡され、会場からは荣誉を讃える拍手が湧き上がりました。

恒例の部門別 記念撮影後、体験発表として、射水市立新湊南部中学校三年・竹内郁恵さんが、「摂食障害を乗り越えて」と題して、(第四十八回富山県中学生生活体験発表大会・射水市代表Ⅱ富山県知事賞) 特別出演による

発表を行い、改めて会場に感動を呼び起こしました。

さらに、六十回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト・射水市推薦作品が次の二名の児童、生徒により朗読発表されました。



▲開会前の会場に緊張した空気が…

この機関紙は一部共同募金の配分金を受けて作成しました。



市立塚原小学校6年 棚田 翔太くん



市立射北中学校1年 館 由利恵さん



市立新湊南部中学校3年 竹内 郁恵さん

○市立塚原小学校 六年 棚田 翔太
『なくそう犯罪、非行 目指せ明るい社会』
○市立射北中学校 一年 館 由利恵
『やさしさがくれたもの』
最後に米澤治夫射水保護司会長の閉会のあいさつにより当日の予定を終りました。

新湊南部中 三年 高田 真帆	新湊南部中 二年 中島 真正	奈古小 二年 中島 梨菜	東明小 六年 中島 悠雅	片道小 六年 前川 七海	堀岡小 四年 鈴木 颯	金山小 二年 京角 怜希	▽標語の部	奈古中 一年 中村 穂	奈古中 一年 中村 穂	大門中 一年 古野 菜由	金山小 六年 折坂 航太	塚原小 五年 佐藤 彩美	新湊小 五年 向井 仁那	堀岡小 五年 桜井 理摩	太閤山小 三年 寺澤 由羅	▽ポスターの部	小杉南中 二年 高木 瞳	大門中 二年 中山 和紀子	奈古中 二年 殿村 宇大	射北中 一年 根来 比奈	太閤山小 六年 八田 菜々美	大門小 六年 岩崎 祐貴	作道小 六年 四柳 瑛資	下村小 五年 東柳 亮太	塚原小 六年 棚田 翔太	▽作文の部	は次のとおりです。 作品コンテスト・優秀賞の皆さん
----------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------	---------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------	------------------------------



▲閉会のあいさつ 米澤保護司会長



▲家族、関係者も祝福



▲アイザック小杉文化ホールでの作品展示

『住みやすい地域社会づくりをめざして』を開催テーマとして、七月十日富山県シンポジウムin射水大会を控え、射水保護司会では、一昨年十二月より準備委員会を立上げ、十二月まで八回に及ぶ会議のほか、富山保護観察所と連絡調整の打ち合わせ会を開き計画を進めて来ました。
今年一月からは、準備委員会を実行委員会として、いよいよ日程に沿った具体案、担当の割り当て、関係機関との連絡調整等の計画を実行する事とし、仕事を進めています。
保護司会全員で力を合わせ大会の成功に向かって邁進しましょう。

第61回 “社会を明るくする運動”

富山県シンポジウムin射水

「住みやすい地域社会づくりをめざして」

平成23年 7月10日(日) 13:00~16:00

射水市アイザック小杉文化ホール(ラポール)

(〒939-0351 射水市戸破1500番地/TEL:0766-56-1515・FAX:0766-56-1530)

富山県シンポジウムin射水
七月十日 開催迫る!

射水市更生保護女性会
家庭用品交換会開催

去る七月二十四日(土)九時三十分より新湊農村環境改善センターを会場に、恒例の家庭用品交換会(昨年までは不用品交換会)が開催されました。例年の事ながら、開始前の九時十五分には大半の品が交換、引き取られてしまいう盛況ぶりでした。

世の中には、『断捨離』という言葉もあるそうですが、ここでは「もったいない」という温かい響きの言葉が今も生続けている事を実感しました。



▲ 不用品交換会にてぎわう会場

お世話いただいた役員の皆さん、
ありがとうございました。

平成二十二年度
射水市更生保護協力会定期
総会開催

平成二十二年八月十二日(木)午後一時三十分より射水市小杉社会福祉会館に於いて射水市更生保護協力会の総会が開かれました。

総会は、物故者への黙祷、会長・夏野射水市長による開会のことば、来賓紹介と続き、議長に夏野会長(市長)を選出し議事に入りました。



▲ 開会のことばを述べる夏野会長(市長)

①平成二十一年度事業報告並びに一般会計及び特別会計決算報告②監査報告③役員改選④平成二十二年度事業計画(案)並びに一般会計及び特別会計収支予算(案)について審議、議事は滞りなく終了しました。

その後、アトラクションとして、和楽器が奏でる「懐かしの歌」と題し、安井義雄(胡弓)、橋川裕子(ピアノ)の和洋コラボレーションバンド、レーヴ・モマンによるミニコンサートで、会場は和やかな空気に包まれました。



▲ レーヴ・モマン(胡弓とピアノ)のコンサート

なお、射水市更生保護協力は、射水保護区内で非行や、罪を犯した人の改善及び更生を助け、犯罪予防の活動を助長し、個人及び公共の福祉に寄与するため、この趣旨に賛同する団体、(企業)会員と個人会員で組織され、社明運動(中学生生活体験発表大会・作品コンテスト表彰協賛金)をはじめ、更生保護大会等助成・富山県シンポジウムin射水大会への助成等々、多く支援を行っています。

射水地区更生保護協力雇用主会
富山刑務所見学及び総会開催

平成二十二年十月二十日(水)射水地区更生保護協力雇用主会では、定期総会に先立ち午後一時より研修会として富山刑務所の見学を行いました。

所内を巡り入所者の様子、施設を見学した後、刑務所の現状等の説明を受け、有意義な研修会となりました。

見学後、総会及び懇親会場の「わはく」に移動し、午後四時よりの定期総会では、始めに七月他界された御後保護司の冥福を祈り黙祷を捧げ、事務局より経過報告、山本会長を議長に選任し議事に入り、役員の改訂等については、今後意見を聞きながら次会までに検討提案する事で了承され、その他総会は滞りなく終了しました。

懇親会は、和気あいあいの中に、対象者の就労支援⇨再犯防止の上で必要とする企業・保護司の情報交換の出発点として有意義な場となりました。



射水更生保護10号特集！ 射水保護司会五年の歩み

平成十七年十一月射水市の誕生に伴い、翌十八年四月、旧新湊保護司会、旧射水保護司会が合併し、射水保護司会が発足しました。
 以前からの合同研修・中学生生活体験発表大会の共同開催などの実績もあり、建設的かつ友好的に話し合われた結果の発足でした。
 以来、五年を経過しました。広報紙「射水更生保護」も今号で十号をかぞえ、特集として「射水保護司会」のこれまでを振り返って見ました。

平成十八年

◆四月二十六日 射水保護司会発足

保護司定数五十八名、役員として会長一名、副会長一名、常任理事若干名、理事十四名以内（一人は事務局長を兼ねる）監事二名により、総務部会・研修部会・広報部会・協力組織部会・地域活動部会・学校部会の六部による機能別部会で、事業、行事等に特色ある活動を展開しています。



◆五月三十日

射水市中学生生活体験発表大会開催

射水市中学生生活体験発表大会は合併以前から共同開催されていた行事で、回を数え二十五回目を迎え、市立奈古中学校を会場に開催されました。
 この大会は、学校部会を中心に企画されますが、学校部会は全国の保護区でも珍しく過日、中部地方保護司代表者協議会で米澤会長が紹介したところ、質問が続出し、大半の時間を費やしたそうです。



平成十九年

◆八月八日

射水地区BBS会設立

射水市発足以来、更生保護体制の充実には射水保護司会にとって急務であり、BBS会の設立を目指し、八月一日には準備委員会、そして同月八日射水市小杉社会福祉会館を会場に射水地区BBS会の設立総会が開催されました。
 当日は、保護観察所はじめ、関係団体から多くの来賓が出席し、会長には石灰一友さんが選出されました。
 さらに、十二月十日アイザック小杉文化ホール研修室に於いて富山県BBS連盟及び富山保護観察所、射水保護司会、射水更生保護女性会の共催・協賛によりBBS講座も開催され今日に至っていますが、更なる活動の充実が期待されます。



◆十一月二十七日

協力雇用主Ⅱ射水保護司会 懇談会が開催される

第一回目となる、協力雇用主、射水保護司会の懇談会が射水市大門総合会館を会場に開かれました。
 当日、協力雇用主二十三社、加藤富山保護観察所長、水口統括観察官、棚元射水保護司会長以下多数の保護司が出席して開催されました。
 犯罪や非行をした対象者が社会復帰を遂げるには就労して生活基盤を確立することが最も重要なことです。
 雇用主の立場で山本修氏、保護司の立場で炭谷幸子氏から過去の事例報告があり、出席者全員で今後の取り組み、就労支援について話し合いました。
 この事は、後に射水地区更生保護協力雇用主会発足に繋がりました。



平成二十年

◆五月十七日
射水市更生保護女性会設立

旧、新湊更生保護女性会、旧、射水市更生保護女性会射水地区が統合する射水市更生保護女性会設立及び平成二十年度総会が、新湊交流会館を会場に開催され、森・設立準備委員より経過報告等があり、市長はじめ富山保護観察所長及び射水保護司会長の祝辞、激励のことばに続き、総会で会長に新中孝子さんを選任、女性(母)の立場で青少年の更生・立ち直りを援助する事を誓い議事は滞りなく終了しました。



◆八月二十七日
青少年問題懇談会開催

射水保護司会、第三期地域別定例研修の一環として、この研修は棚元会長

の提案に射水市が応え、市長はじめ、市教育委員会及び関係者、保護司が参加して、地域の間関係の希薄化、家庭内での躰が行き届かなくなった事などから犯罪や非行の抑止力が失われつつあるのではないかとの思いから、児童・生徒の実態に詳しい教育関係者と日頃犯罪や、非行をした青少年に接している保護司が、意見交換の場を持ち、青少年の健全育成に役立てようと開催されましたが、引き続き機会をつくり、状況の把握に努める事とし熱い意見交換を終えました。



◆十月二十八日
射水地区更生保護協力雇用主会設立

国の就労支援事業制度及び富山保護観察所の指導により、射水保護司会の協力組織部会および紹介保護司を中心「協力雇用主会設立準備会」を立上

げ協議を重ねてきたところ、射水市大門総合会館に於いて富山県下初となる、「射水地区更生保護協力雇用主会」設立総会が開催されました。
保護観察対象者の再犯はその四十パーセントが無職者で、就労支援は、再犯を減らし、安心、安全な社会を創る上で重要な事であり、県下の協力雇用主会設立の先駆けとなりました。



平成二十一年

昭和二十四年「犯罪者予防更生法」の施行以来更生保護制度は、六十周年を迎えましたが、射水保護司会では各地の記念大会に参加し、更生保護への思いを新たにしました。

平成二十二年

第六十回「社会を明るくする運動」の強調月間の七月十九日、射水保護司会恒例の街頭宣伝活動は、折からの「海の日」の行事で賑わう海王丸パークで今年度は、趣向を変えて海上より繰り広げられました。



平成二十二年受表彰者紹介

平成二十二年度・富山県更生保護事業関係者顕彰式は去る十一月十七日、「ポルファートとやまで」開催された。

これは例年、県下更生保護事業関係者の顕彰により、士気の高揚・更生保護事業の一層の充実を期して実施されるものです。

○法務大臣表彰

(保護司)

檜物 和廣
青木 哲静
江尻 昭

○全国保護司連盟会長表彰

(保護司)

川口和香子
大伴せつ子

○日本更生保護女性連盟会長表彰

(更生保護女性会員)

土居アツ子

○中部地方更生保護委員会委員長表彰

(保護司)

前野 昭次
眞岸 勝彦
海内 貞行

○中部地方更生保護委員会委員長感謝状

(更生保護女性会員)

林 基美枝

○中部地方更生保護女性連盟会長表彰

(内助功労者)

多賀 正夫
石黒ヒロ子

○富山保護観察所長表彰

(保護司)

宮本香代子
旭 邦彦
山口 花子

○富山保護観察所長感謝状

(勤続十年保護司)

山本 修
海内 貞行

(家族功労者)

渡辺 早苗
炭谷 明美

(更生保護女性会員)

分家かつ江
小泉多喜子

荒木茉莉子
萩野利智子

(民間協力)

射水市立中学校長会

○富山県保護司会連合会会長表彰

(保護司)

富岡 民生
佐賀あさ子
廣瀬 秀昭

今年度他方面で活躍が認められ受賞された保護司・団体の紹介

○射水市社会福祉協議会会長表彰

(保護司)

鈴木 光正
村上 静子

(更生保護女性会)

新中 孝子

富山刑務所視察研修報告



島木 嘉子

九月十五日(水)午後、第II期研修として富山刑務所の視察が行なわれ、引き続き小杉文化ホールにおいて

自主研修会議が持たれました。研修会議の発言概要を報告いたします。(順不同)

○視察参加者から、刑務所内を案内していただき入所者の姿を目の当たりにできたことは大変有意義であったとの感想が多く聞かれました。(主な感想・意見)

- ・入所者は一部屋に七・八人の共同生活であった。日々の無事な生活維持に対するご苦労が推察された。
- ・共同生活は規則正しい行動が基本、どの部屋も整理整頓され感心した。
- ・受刑者には、学習・運動・娯楽・食事などが配慮され人権尊重の理念のもとに運営されていた。実りある体験が更生への道標となるよう祈った。
- ・受刑者が作業に取り組み姿の中でふと腕の刺青が目が止まる。深い闇の過去が思いやられ胸が痛んだ。
- ・彫刻の技術が神輿を製作する程とすることに感動したが、技を生かした就労は皆無、現実の厳しさを痛感した。
- ・入所者の七割が窃盗と覚醒剤違反者という。保護司の対応力向上が求められており今後の研修が必要である。

・刑務所の一隅に母子像が建つ。母の慈愛と絆を入所者に呼びかけているが、人間関係が希薄・険悪になっ

ている今、私達への問いかけでもある。

○米澤会長から「射水市更生保護協力雇用主会」を立ち上げた意義、今後益々重要な役割が期待されること、連携を密にして実りあるものにしていこうとの呼びかけで閉会しました。



昨年、富山県薬物乱用防止指導員高岡地区協議会総会のおり、研修会(講演会)では「薬物依存からの回復と富山ダルクの活動について」と題して富山ダルクの林敦也氏の講演が行われました。ダルクは全国各地にあります、具体的な活動はご存知でしょうか？

◆ダルク(DARC)とは？

Drug Addiction Rehabilitation Center (薬物依存症回復施設)の頭文字をとったものです。一九八五年に、薬物依存症から回復した一人の回復者によって東京都荒川区(現在の東京ダルク)に開設されたのが始まりで、その最大の特徴は、利用者と関わるスタッフが薬物依存症からの回復者で、スタッフは先生や、指導者では無く先を行く仲間である事を大切に

◆部会だより◆

●総務部会

平成二十三年七月十日(日)に開催される、第六十一回社会を明るくする運動「富山県シンポジウムin射水」の成功に向けて部会を進めています。

そこで準備委員会を実行委員会に切りかえ、住みやすい地域社会づくりをめざして“のテーマのもと、各パネリストの方々と密度の濃い連携をとりあわなければと考えています。

保護司各位を中心に各地域の皆様のご協力により、この大会がスムーズにはこびますようご協力をお願いします。

●研修部会

7月27日(火) 第2期地域別定例研修

—生活環境調整について—
自主研修 —事例に学ぶ—
「良好・不良措置について」

五十嵐保護司

9月15日(水) 富山刑務所施設視察研修
11月30日(火) 第3期地域別定例研修

—経過報告書の書き方について—
自主研修「薬物乱用防止について」

川口保護司

2月8日(火) 第4期地域別定例研修

—社会資源の活用と社会貢献活動について—

自主研修「事例に学ぶ」前野保護司

◆自主研修より

富山刑務所の施設内見学は個人ではなかなか実現出来ない。入所者の姿を直接目の前にし、作業場で一心に作業している受刑者、腕の入墨が目に入り過去の生活が思いやられた。

今年度、実現したものです。総会・懇親会も同時に開催し、「射水地区更生保護協力雇用主会」保護司会員全員に呼び掛けた結果、山本会長はじめ、延べ二十二名の参加を頂きました。

又、富山県も覚せい剤犯罪・再犯が多くなって来たとの事。

富山刑務所では、「射水地区更生保護協力雇用主会」会員と言う立場上、特に就労支援を念頭に置いた為か、大変緊張する時間でもありました。

丁度、今年7月高校生覚せい剤事犯例もあり、薬物乱用防止について10月1日～11月30日迄、2ヶ月間「富山県麻薬・覚せい剤乱用防止運動」の実施期間最終日に薬の恐ろしさを学習した。研修を通して、非行や罪を犯した人達の立ち直りに役立てたいものです。

一方、総会・懇親会では、射水市内「わはく」を会場に今後、情報交換を進めて行くスタートとして有意義且つ成功裡に終了しました。

●広報部会

11月4日(月)「富山更生保護」

第百八十二号編集委員会出席
1月末「射水更生保護」10号発行

保護司は仕事内容が地味で、一般に良く知られていないので、広報活動がより重要になって来ます。

就労支援を、するポイントとして、対象者の話を聞く事は勿論、雇っていただく雇用主の話も十分聞き、雇ったが、三日で来なくなると言う事の無きよう雇う側、雇われる側、支援する側で、事前に納得の行くまで話し合い、「あのとき…」と言う様な結果の残らない支援をお願いします。

●地域活動部会

平成二十三年度の活動に向け企画を立案中です。

各位からの、ご提案を歓迎します。

●協力組織部会

10月20日(水)

◆射水地区更生保護協力雇用主会
会員の皆様と富山刑務所見学

この計画は昨二十一年度、新型インフルエンザで延期されていた企画で、

●学校部会

・第六十回 社会を明るくする運動

作文・ポスター・標語コンテスト優秀作品

・第二十九回 中学生生活体験発表
作品集・近日発行予定

◆利用対象者

タルクでは「薬物をやめたい」と言う本人の気持ち優先されたい。十八歳から六十五歳位の人が利用しています。その中でも三十歳から三十五歳位の利用者が最も多く在籍しています。

◆プログラム

タルクの利用の仕方の一つは、共同生活をしながらの入寮(ナイトケア・プログラム)と自宅やアパートから通う通所(デイケア・プログラム)と言う方法で、いずれも昼間はグループ・ミーティング、スポーツレクリエーション等に参加します。夜間各地で行われるNA(ナルコティクス・アノニマス)のミーティングに参加します。

プログラムは新しい生き方を手に入れるための手助けをします。

タルクは回復のための場所と時間、回復のモデルを提供してくれます。(薬物依存症は完治しないと言われています)回復には限りがない、薬物を使わなくなった時が、真の意味のスタートラインに立ったと言えるでしょう。

◆利用の仕方

全国にあるタルクの中で自分が行きたい所に直接電話するか、近くのタルクを訪ねそのスタッフに調整してもらいます。
費用は入寮で十五〜十六万円位です。

※以上、日本更生保護会「保護司のための酒害・薬害指導」の手引より掲載

◇事務局日誌◇

平成22年
4月13日 第一回理事会(協議事項・総会)
各部署
平成22年度定期総会
23日 各部署
5月11日 第3回シンポジウム打合せ
27日 第60回社明運動
富山県推進委員会
5月18日 第一期地域別定期研修会
25日 第4回シンポジウム打合せ
27日 射水市中学生生活体験発表大会
6月3日 地域活動部会協議会
22日 第60回社明運動射水市推進委員会
7月1日 第5回シンポジウム打合せ
29日 法務大臣・知事メッセージ伝達
4日 6・26ヤング街頭キャンペーン(炭谷・新中参加)
10日 第48回富山県中学生生活体験発表大会
11日 第60回社会を明るくする運動富山県シンポジウム
19日 第60回社会を明るくする運動街頭広報活動
27日 第二期地域別定期研修会
8月3日 射水市更生保護協力会
8月12日 射水市更生保護協力会総会
小杉社会福祉会館

8月31日 第6回シンポジウム打合せ
大門総合会館
9月7日 保護司候補者検討協議会
小杉社会福祉会館
9月15日 研修部会協議会(炭谷)
高志会館
9月16日 視察研修
富山刑務所ほか
9月16日 保護司指導力強化研修(第2次研修) 高志会館
9月28日 22年度保護司等中央研修会(江尻)
10月5日 東京都 有楽町朝日ホール
10月5日 第6回シンポジウム打合せ
大門総合会館
10月13日 保護司処遇基礎力強化研修(第1次研修) 高志会館
10月15日 富山県社会福祉大会(炭谷、川口) 富山県民会館
10月16日 作品コンテスト表彰式
小杉文化ホール
10月21日 射水市社会福祉大会
小杉文化ホール
10月25日 第2回富山県保護司会連合会理事会 高志会館
11月4日 22年度中部地方保護司代表者協議会(米澤) 愛知県
11月17日 22年度富山県更生保護事業関係者顕彰
ホルファートとやま
11月29日 富山県薬物乱用防止指導員大会 富山県民会館
11月30日 第三期地域別定期研修会
小杉社会福祉会館

12月7日 第7回シンポジウム打合せ
大門総合会館
2月8日 第四期地域別定期研修

●保護司の異動

○退任保護司

(平成二十二年十二月十九日付)

石黒 善昭

永きに亘りご苦労さまでした。

○新任保護司

(平成二十二年十二月二十日付)

坂井 敏政

島田 公志

山崎 次平

○おくやみ

保護司
平成二十二年 七月

御後 一夫

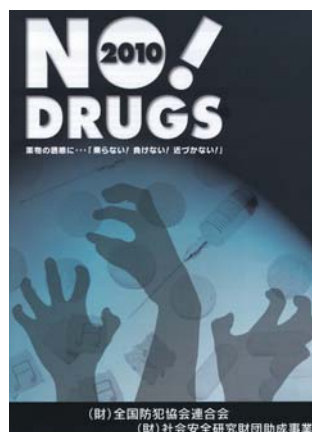
ご冥福をお祈り申し上げます。

●支援・共済団体紹介

- ◇小杉ライオンズクラブ
JR小杉駅前広告塔
- ◇新湊ライオンズクラブ
- ◇大門ライオンズクラブ
- ◇新湊ロータリークラブ
- ◇新湊中央ロータリークラブ
- ◇射水ロータリークラブ
- ◇社会福祉法人富山県協同募金会

◇射水市善意銀行

中学生生活体験発表大会経費
社会を明るくする運動
啓発資料購入代
ご支援、ご協力
有り難うございました。



編集後記

卯年を迎えました。動物には繁殖期がありますが、兎は一年中、子どもを産むことが出来ると聞いたことがあります。(人も…)言うなれば「子孫の繁栄、命のリレー」の象徴である、と言えます。そんな意味で縁起の良い年あり、次代を担う子どもたちの、健全な成長と兎にあやかっけてピョンと飛躍を願う次第です。

いよいよ今年七月「富山県シンポジウムin射水」が開催されます。射水保護司会では今年最大の行事とし力を合わせ成功裡に終わりたいものです。
(寺腰記)